

立命館大学大学院
2023年度実施 入学試験

博士課程前期課程

スポーツ健康科学研究科
スポーツ健康科学専攻

入試方式	実施月	論述	
		ページ	備考
一般入学試験	11月	P.1～	
	2月	P.4～	
社会人入学試験	11月	P.1～	
	2月	P.4～	
外国人留学生入学試験	11月	P.1～	
	2月	P.4～	
学内進学入学試験	7月		
	11月		
学内進学入学試験 (学部早期卒業希望者対象)	7月		
	11月		

【表紙の見方】

×・・・入学試験の実施がなかった等の理由で入学試験問題の作成がなかったもの、または、問題を公開しないもの
斜線・・・学科試験(筆記試験)を実施しないもの

立命館大学大学院
2023年度実施 入学試験
博士課程後期課程

スポーツ健康科学研究科
スポーツ健康科学専攻

後期課程では、筆記試験を実施していません。

受験番号

2024年度 立命館大学大学院

スポーツ健康科学研究科【博士課程前期課程】
入学試験問題

筆記試験 論述

(基礎問題・専門問題)

試験時間
11:00 ~ 12:00 (60分)

2023年11月11日 (土)

《注意事項》

1. 配布された全ての用紙の所定欄に受験番号ならびに氏名を記入すること。
2. 解答は日本語を用い、答案用紙に横書きで記入すること。
3. 基礎問題、専門問題ともに解答すること。
4. 答案用紙は、計2枚。
5. 試験終了後、配布した問題用紙等は全て回収する。

受験番号

基礎問題

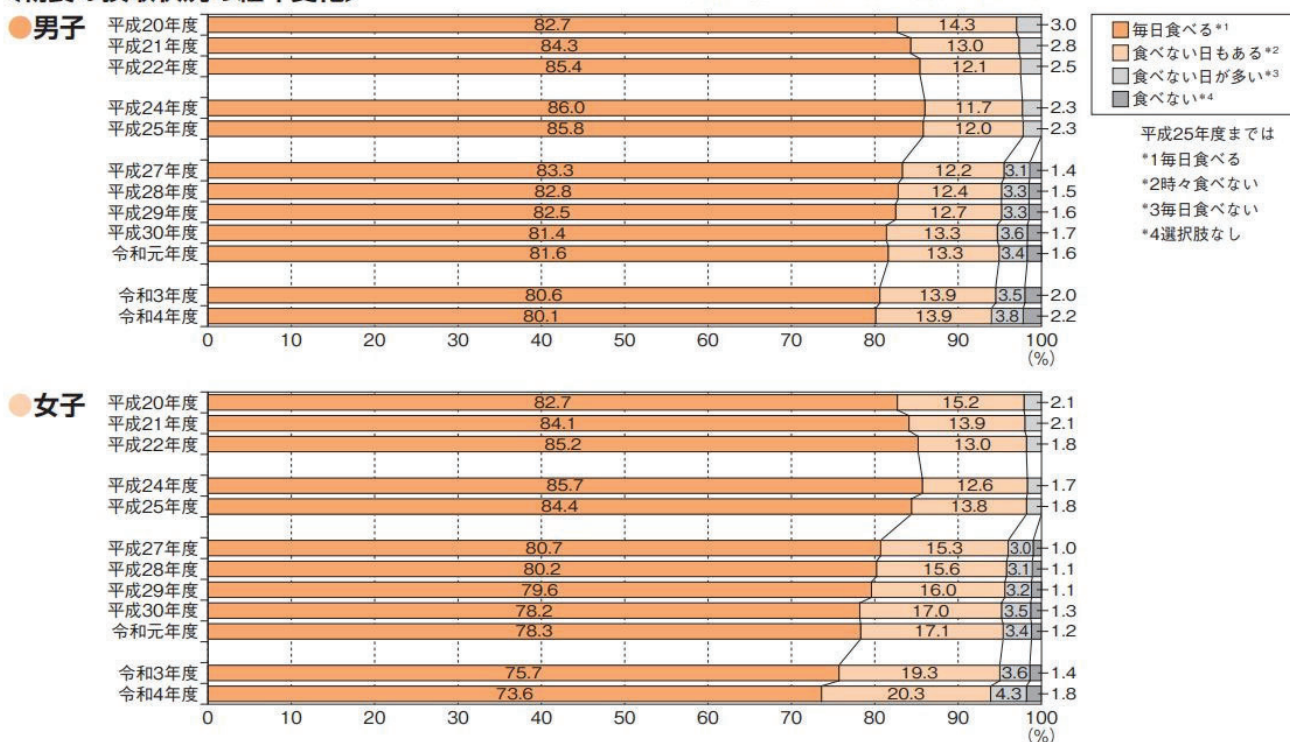
以下の図は「令和 4（2022）年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告」より中学校生徒の「朝食と体力の関連」を示したものである。＜計 60 点＞

(1) この結果に関して、特徴や傾向を 300 字程度で説明しなさい。＜40 点＞

(2) (1) で説明した内容について考えられる理由を 200 字程度で説明しなさい。＜20 点＞

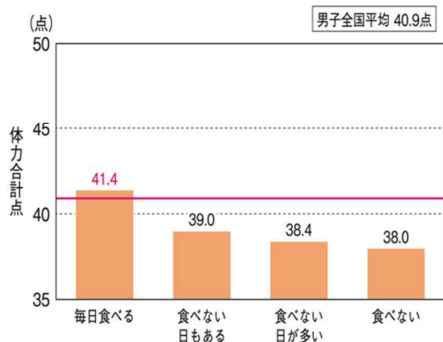
【朝食の摂取状況の経年変化】

※平成26年度は、該当する質問項目がない。

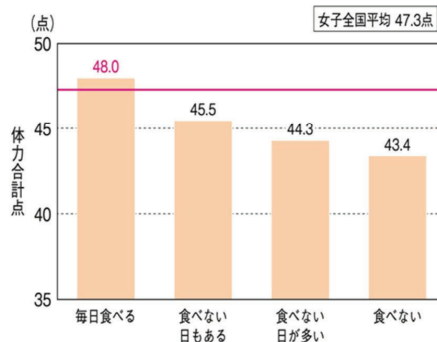


朝食

男子



女子



令和 4（2022）年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書（P.38・P.39）から抜粋

https://www.mext.go.jp/sports/content/20221215-spt_sseisaku02-000026462_5.pdf

専門問題

受験番号	
------	--

次の(1)～(4)の問題のうち1問を選択し、答案用紙に**500字以内**で解答しなさい。答案用紙には選んだ問題の番号に必ず○をしなさい。<計40点>

(1) スポーツ健康科学

肥満および肥満症について、その定義を説明するとともに、それらをもたらす要因を挙げなさい。また、肥満を予防・改善するための身体活動や運動について具体的に説明しなさい。

(2) 生涯スポーツ論

スポーツ(sport)の語源について説明しなさい。その上で、スポーツ(sport)の現在における意義について、説明しなさい。

(3) 基礎機能解剖論

頸椎の構造と機能の特徴および頸椎の動きに作用する筋について説明しなさい。

(4) コーチング論

なぜコーチは「スポーツの意義と価値」を考えプレーヤーに伝えなければならないのかを説明しなさい。

以 上

受験番号	
------	--

2024年度 立命館大学大学院
スポーツ健康科学研究科【博士課程前期課程】
入学試験問題

筆記試験 論述
(基礎問題・専門問題)

試 験 時 間
11:00 ~ 12:00 (60分)

2024年2月4日 (日)

《注意事項》

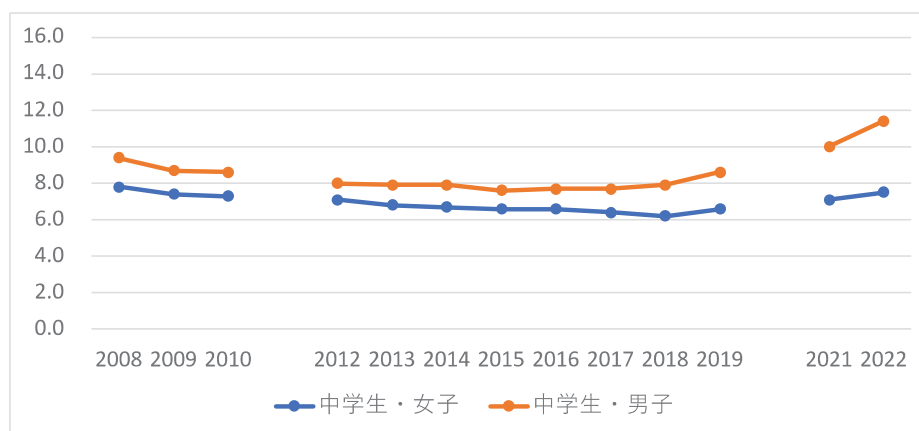
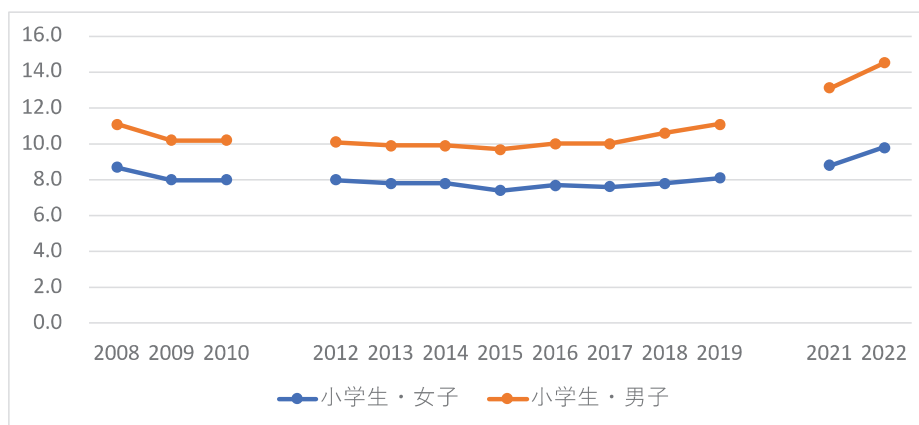
1. 配布された全ての用紙の所定欄に受験番号ならびに氏名を記入すること。
2. 解答は日本語を用い、答案用紙に横書きで記入すること。
3. 基礎問題、専門問題ともに解答すること。
4. 答案用紙は、計2枚。
5. 試験終了後、配布した問題用紙等は全て回収する。

受験番号

基礎問題

以下の図は、令和4年度（2022年度）「全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果」に関わって広報された肥満傾向児の経年変化を表した図です。

- (1) この結果に関して、特徴や傾向を300字程度で説明しなさい。<40点>
 (2) (1)で説明した内容を踏まえ、その原因を1つ挙げ、その対策について200字程度で考察しなさい。<20点>



出典：スポーツ庁「令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果」

(https://www.mext.go.jp/sports/content/20221223-spt_sseisaku02-000026462_2.pdf) をもとに作成 (図を一部改変)

(アクセス日：2024年1月25日)

肥満・痩身傾向児の算出方法について

○肥満傾向児の割合の推移

性別・年齢別・身長別標準体重から以下の算出式により、肥満度が20%以上の者を肥満傾向児、-20%以下の者を痩身傾向児としている。

$$\text{肥満度・痩身度} = [\text{実測体重 (kg)} - \text{身長別標準体重 (kg)}] / \text{身長別標準体重 (kg)} \times 100 (\%)$$

※例えば、11歳男子の肥満傾向児の全国平均値12.48%とは、肥満度20%以上の者の割合が11歳男子児童全体の12.48%であることを意味している。

出典：文部科学省「肥満・痩身傾向児の算出方法について」

(https://www.mext.go.jp/content/20220713-mxt_chousa01-100012587_c.pdf) より

受験番号

専門問題

次の(1)～(4)の問題のうち1問を選択し、答案用紙に500字以内で解答しなさい。答案用紙には選んだ問題の番号に必ず○をしなさい。<計40点>

(1) スポーツ健康科学

世界保健機構(WHO)の健康の定義を記述し、国民の健康増進が求められる意義について、この定義を基に具体的に述べなさい。

(2) 生涯スポーツ論

障がいがある人のスポーツ参加を妨げる要因を、①物理的、②制度的、③情動的、④認識・意識的の4つの観点から具体事例をあげながら説明しなさい。また、③および④の要因に対する方策を具体的に提案しなさい。

(3) 基礎機能解剖論

筋活動の様式について、アイソメトリック、コンセントリック、エキセントリックな筋活動とは何かそれぞれ説明し、その特徴を述べなさい。また、日常生活やスポーツの中でこれらの様式の筋活動が行われる具体的な例をそれぞれ挙げなさい。

(4) コーチング論

スポーツ指導現場におけるリスクマネジメントについて、指導者として事前にチェックしておかなければならないポイントのなかから、3つ具体例を交えて論じなさい。

以 上